



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2019年 6月 1日発行

6月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 100 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

憲法いかし 福祉のまちに

100号達成



市民のみなさん。杉谷伸夫です。

私が向日市議会議員になる少し前から、市民のみなさんと毎月発行してきた『杉谷ひろば』が、記念すべき100号を迎えました。私の議員活動と市政や社会の課題を市民のみなさんにお伝えし、みなさんから頂いたご意見を取り上げてきました。これからも市民の皆様の声の代弁者となるよう頑張ってゆきます。(5月28日・杉谷伸夫)

向日市議会議員 杉谷伸夫 所属政党なし
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。GSユアサ(旧日本電池)勤務を経て、2011年より向日市議会議員2期。64才

西向日駅前新事務所にお越し下さい

西向日駅西口すぐ北(たばこ店の隣)に新事務所を開設しました。ぜひお立ち寄り下さい。

向日市議会 大型補正予算提出

5月27日に開会した向日市議会に、10億円を超える大型の補正予算が提出されました。

目新しい事業・注目事業の一部を以下に紹介します。予算や主要事業は向日市議会のホームページに公開されていますので、ぜひ見て下さい！

- 史跡乙訓古墳群の買上げ
 - ・五塚原古墳・寺戸大塚古墳、計約34,000㎡
- 子育て支援
 - ・幼稚園の2歳児の預かり保育への支援
 - ・病児病後児保育施設の新設(補助)
 - ・中学生の通院月1500円を超える医療費負担を助成
※私は小学生と同じ(月200円)にすべきと主張
- ぐるっとむこうバス(コミバス)利用促進事業
- 図書館開館35周年事業(特別展、設備の改修等)

催し等のご案内

- ★ 6月8日(土) 10時~12時
杉谷さんとともにまちを創る会
西向日駅前・新事務所
- ★ 6月8日(土) 18:30~21:00
東アジアに平和を！日韓スピーキングツアー
京都集会：ハートピア京都・大会議室
- ★ 6月22日(土) 14時~16時
京都沖縄連帯集会/円山野外音楽堂

向日市議会・6月定例会の主な日程

- 6/5(水)~7(金)：一般質問
杉谷議員の一般質問は6/7(金)午前の見込み
- 10~14：各常任委員会
- 6/21(金)：最終本会議

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



西向日駅前事務所開き

期待の声

時々『杉谷ひろば』の配布をお手伝いしています。これからも市民の声に寄り添う『杉谷ひろば』であってほしい。



『杉谷ひろば』は毎月読んで楽しみにしています。私たち市民の声の代弁者だと思う。

向日市の議会を何度か傍聴しているが、厳しさが足りない。もっとしっかりしてほしい。市民にも責任がある。皆さん傍聴に行ってもらいたい。市民の注目があれば、議員にも緊張感を与える。杉谷さんには期待している。



議会のレベルアップが必要です。それが向日市全体のレベルアップにつながると思う。

向日市議会は沖縄の民意に反した新基地建設に反対し、地方自治を守れという意見書を何度も可決している。杉谷さんが中心になって起草してくれたと聞いている。とてもうれしい。



「最低賃金1500円」の運動をしている。若者は政治にアキラメているが、このままで良いとは思っていない。生活が厳しい。若者の声に応える活動を期待します。

世の中が「右といえばみな右」へ流れていく風潮が強まっていることを感じ、怖い。おかしいことには「NO!と言えろ」社会にしてゆけるよう、杉谷さんに先頭に立って頑張ってもらいたい。



市民会館の解体に、本来支出しなくて良いはずの多額の支出がされている。結局市民が負担しなければならない。市議会には、「税の番人」としてもっと厳しくチェックしてほしい。

「何でもかんでも民営化」で公的責任を民間に丸投げする無責任な政治がまん延している。そんな風潮を止めてほしい。「憲法いかして福祉のまちに」の訴えに共感します。



憲法は「守る」ものではなくその理念を実現するもの。平和も「創る」もの。「守る」でなく「創る」姿勢で取り組んでほしい。

杉谷伸夫の

活 動 報 告

議会一般質問の予定

6月7日(金) 午前中の見込み(6月4日にわかります)
Youtubeで生放送、及び録画放送が見れます

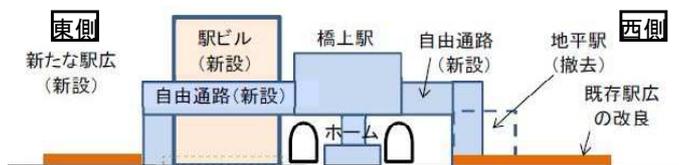
1 救護施設問題 市民不安の解消へ市長は最大限努力を

救護施設問題について京都市は、「向日市民との話し合いを重ね、誠意をもって取り組んでいく」と門川市長名で表明しましたが、果たしてこの間そのような取組みがなされたのか疑問です。この間京都市がそのためにどんな取組をしたのか、向日市が知る情報の報告を求めます。

この問題の解決に最も重要なことは、京都市・事業者・向日市と、向日市民の間の信頼関係です。なのに京都市は「事業者が決めた場所だからダメと言えない」など責任逃れの姿勢。向日市は「何の権限もない」と逃げ腰。これでは市民の安心は図れません。市長は「向日市民の不安解消へ最大限の努力を尽くす」ことを約束していただきたい。

2 JR向日町駅東口開設 進捗と財政見通しを示せ

森本東部地区の開発・日本電産の進出計画は進みつつある一方で、その前提ともいえるJR向日町駅東口開設と駅ビルについては、すでに2年が経つのにいまだ何も具体的なものが見えません。市民負担を大幅に削減することが事業スタートの条件です。基本計画と財政見直し、向日市の負担見直しを示すよう求めます。



3 観光交流センター—建設計画 地域住民への説明責任を果たせ

JR向日町駅北側に建設が予定されている観光交流センターについて、周辺住民の方から「知らなかった」「説明に納得できない」との声が出ています。自分たちの住む地域に多額の税金を使って公共施設が造られるのなら、早くから知らせてもらわないと困ります。

市には、地域住民への説明責任をしっかりと果たすよう求めます。また観光交流センターの目玉は観光バスが利用できることですが、向日市内観光にどう向かい観光振興につながるのか、具体的な説明を求めます。



4 改善を求めてきた諸課題について、 結果報告と見解を求めます

① 毎議会の冒頭で市長報告を行うこと

私は3カ月毎に開かれる議会の冒頭に市の事業の進捗を市長が報告するよう求めています。すぐに実行して頂きたい。

② 京都府老人医療給付制度の周知を

65歳～69歳の一定所得要件を満たす人は、医療費の窓口負担が3割⇒2割に軽減されますが、市民に十分知られていません。その改善を市は約束しましたが、さてその結果は？

③ 就学援助の入学準備金は入学前に支給を

これまで入学準備金は入学後に支給されるので、入学準備に役立ちません。市は改善を約束しましたが、さてその結果は？

④ 民間の留守家庭児童会誘致方針に疑問

市長は今議会初日に「民間の留守家庭児童会の誘致を進める」と表明しました。しかし各小学校毎にある公立の留守家庭児童会と異質な民間の留守家庭児童会を行政が誘致することには多くの批判があります。市の見解をたずねます。

大宅壮一の「天皇 実録記」を読んで

安野 洋子

ゴールデンウィークの今年は十連休となったが、天皇の代替わりを政治の都合で5月の初めにしたからである。日給制の人たちからたくさん批判が出ていたのに、まさに「弱肉強食」の政治をしていると思う。

5月3日の憲法記念日は、私は「憲法をかってにさせない会」の集会に参加した。テーマが高槻出身の大宅壮一の「実録・天皇記」だったので。1952年に書かれたこの本は、戦争が終わり天皇が「現人神（あらひとがみ）」から「人間」に代わったことで、大宅壮一らしく大胆率直に書かれている小気味よい本である。大宅氏は小学生の時から天皇に対する疑問を持ち続けていたので、敗戦後自由に書けることになり爆発した感じだ。

天皇が「万世一系」と言われ、126代の系図がたどれるのは、世界的に驚異的な記録であるとい

う。その長い期間、天皇制は血のつながりを保持し、それが日本を支配する権力と結びつき、信仰のような存在になったのである。この問題を大宅氏は社会的な面から切り開いて書いているのだ。目次の書き方にしても「危なかった血のリレー」「天皇製造、局の女子従業員」「天皇に寄生する男子従業員」等々強烈である。

「万世一系」と言われているが、日本書紀や古事記によると「崇神、仁徳、継体」の三王朝交替説が有力に言われている。また敗戦時には天皇制の廃止が俎上に登ったが、アメリカの占領政策上の判断で戦争責任は東条英機などの軍部に押しつけ、天皇制の「国体」は維持された。それが現代にも影響し、現実に残っているのが「忬度」問題や、韓国や中国との歴史認識に及んでいるのだ。

平成の終わりに天皇は、この時代に戦争が無かったことは良かったと言われたが、この時代次々と世界の戦争に加担し始めたのではないか。1991年の湾岸戦争に「人」ではなく「金」のみで協力したことでアメリカから批判された。それに恐れ、自衛隊法を改定し海外任務を遂行した。元号が令和になっても、安倍政権が政治を行っているこの現実。「忬度」「記録改ざん」などの不正が横行する政治を終わらせねばと強く思う。

5・25西谷文和さん講演会

「戦争はウソから始まる」

向陽高校卒業のジャーナリスト・西谷文和さんを招いて講演会をしました。講演の一部です。

なぜメディアは報道しないのか？

ベトナム北爆、イラク戦争など、戦争は意図的なウソから始められた。なぜ戦争が止められないのか？それは戦争が「儲かるから」。何十兆円という軍事需要が生まれる。そして戦場に行かされるのは、いつも若者達だ。

しかしマスメディアは、大切なことを報道しない。スポンサーが大金持ち、大企業だから。芸能情報に埋もれて、真実が伝わらない。そして「テロリストの側につくか、テロとの戦いにつくか」と二者択一を迫る宣伝を垂れ流す。どちらも間違いだ。テロの根源である貧困や差別を無くすという第3の道を示さない。



西谷文和さん(右)と、あいさつする杉谷伸夫議員(左)

5 : 3 : 2 を変えれば政治は変わる

安倍政権は改憲の動きを進めるだろう。憲法9条に3項を加えて自衛隊を書き込むという。そんなことをすれば、9条1項「戦争の放棄」、2項「戦力の不保持」は否定されてしまう。

安倍一強と言われるが、決して強い支持があるわけではない。5 : 3 : 2 の法則がある。選挙で投票に行かない人5割 : 与党に投票する人3割 : 野党に投票する人2割だ。「5割」の投票に行かない人は現在の政治にあきらめている。この人たちが投票に行き、これが4 : 3 : 3 に変われば政治は一気に代わる。それは可能だ。大切なことはあきらめない、騙されないことだ。